

学習発表会に まつわるエトセトラ

各学年の発表は、ほんの15～30分程度ですが、そこにたどり着くまでには担任等の様々な工夫やたくさんの苦労があったのです。少し紹介させていただきます。

1・2年：「月夜のダンス大会」

主に、1年担任が全体指導と台本アレンジを担当。2年担任は、小道具、音響、細かい児童の動きを担当。わかくさ1組担任は、ダンス曲の選曲、生ピアノでのBGM担当。（緊張しすぎて、当日3時に起床。）また、補助員2名は、舞台袖で照明や児童管理（これが何より重要！）を担当していました。最後のあのきれいな「月」は、業務員が仕上げました。



3年：ヒュードロン！おぼけ学校

台本アレンジ、BGM作成、演技指導は3年担任が担当。わかくさ2組担任は、照明を担当したり、舞台袖で声掛けをしたりしながらサポートしていました。夏休み明けすぐに練習を始めました。この早めの練習開始が、功を奏しました。2週間前から感染症が流行し、なかなか全員が揃わず練習がままならない日が続きました。しかし、劇がほぼ仕上がっていたおかげで、直前に変更があってもうまく修正することができました。



4年：♪響け 音楽♪

こちらも夏休み明けすぐに練習開始。1日おきに5年生が教室に来てくれて一緒に声出しの練習をしてくれました。合奏「君をのせて」は、合唱用の楽譜をもとに、担任が楽器の音域に合わせて、鍵盤ハーモニカとリコーダーのパート分けを考えました。「優しさの誕生日」は、郡音楽祭の時にはなかった「〇〇さん、〇〇〇さんのリコーダーソロ」を入れ、バージョンアップさせました。伴奏だけでなく、時間を合わせて5年担任も指導に駆け付けました。終了後、子供たちの「またやりたい！」「また歌いたい！」という声を聞いて、担任も嬉しそうでした。



5年：THE 中塚太鼓2024

太鼓は、若宮太鼓みずほ会からお借りしました。太鼓はみずほ会から、ソーランの外部講師は、涌谷のよさこい団体「祭・WAKUYOSA舞桜」から特別講師をお招きして、指導していただきました。また、芸術鑑賞教室で太鼓の演奏をしていただいた〇〇さんと〇〇さんにも教えてもらいました。皆様、本当にありがとうございました。こういった外部講師による指導は、専門の方から直接指導していただくことで子供たちの意欲とスキルを向上させたいという担任の思いにより実現しました。ちなみに、あのタイヤ太鼓にテープを巻いたのも、丸棒からばちを作ったのも5年担任。パワフルです。

6年：大人会議

6年担任は、どんな劇にしたらよいか悩んだようです。いろいろな台本を読み、子供たちに合うもの、保護者の方々に喜んでもらえて、子供たちとの関わり方を考えるきっかけになれば、という思いで「大人会議」に決めました。台本のアレンジ、場面ごとに使うBGMの選曲、編集にもだいぶ時間を掛けました。何より、演技指導では、子供たちが主体的に演技を考えられるようにすることを大切にしていました。演技指導、音響、照明等を一人でやらなければならないため、直前の練習では、代替養護教諭が照明等を手伝う姿も見られました。先輩たちからのアドバイスに応えようと前日ギリギリまで頑張っていました。当日、会場の皆様の笑い声と涙は、子供たちはもちろんですが、担任の励みと充実感につながりました。



全校合唱：歌の楽しさを伝えよう & 縁の下の力持ち

音楽朝会や直前の練習では、主に5年担任が伴奏を、わかくさ2組担任が指揮と合唱指導を担当し、あのすばらしい合唱をつくりあげました。また、発表会全体の放送の担当はチャレンジ教室担任です。各演技でマイク等を準備したり、BGMを流したりと見えないところで学習発表会を支えていました。ステージ上の子供たちにも目を配り、何か気になることあったときにはすぐに対応していました。